

平成26年度

施政方針

平成26年2月

飯山市

# 平成26年度 施政方針

平成26年3月定例市議会の開会に当たり、平成26年度に臨む、施政の基本方針を申し上げ、市民の皆様、並びに議員各位のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

平成27年春にはいよいよ北陸新幹線(長野経由)の飯山駅が開業します。この開業に向け、24年度に各団体長からなる北陸新幹線飯山駅開業イベント実行委員会を組織し、25年度から本格的にPR活動を進めてきたところ です。

春には、新たに飯山の特産品を活用した「いいやまアスパラまつり」を開催し大勢の方々に好評を博したところです。

また、飯山線と豊かな食文化の連携PRとして「飯山線 走る農家レストラン」を6月と10月にJR東日本長野支社と共同で開催し、満席となる盛況ぶりでした。

秋には、広域連携の初めてのイベントとして「北信州ハーフマラソン」を野沢温泉村と木島平村と共同で開催し、各村よりスタート、新幹線飯山駅前をゴールとして設定、第1回ながら全国から1,700名ほどの選手が参加し、秋の信越自然郷を楽しんでいただきました。あわせてゴール地点の飯山駅前において、「信越自然郷うまいもの市」を開催し、信越9市町村の観光PR

や特産品の販売など大いに賑わったところです。

12月には、試験車両のイースト・アイの歓迎イベントを開催しました。早朝4時のイベントにもかかわらず、900名の応募の中から抽選で選ばれた100名の皆さんを含む約200名が、新幹線開業への思いを寄せた横断幕やプラカードを持参し、歓迎・祝福ムードを盛り上げていただきました。

その他、秋津小学校6年生による「北信州飯山観光新聞」の発行・配布の取り組みなど、各地区や各種団体の皆さんにも開業をPRしていただいたり、フォトコンテストなどを開催し、内外に向けPRしてきたところです。

飯山駅の広場名も「千曲川口広場」、「斑尾口広場」に決まり、北陸新幹線の列車名も「かがやき」「はくたか」「つるぎ」「あさま」に決定いたしました。今後も、積極的に市内外へ向けてのPRを行い、市民と共に歓迎ムードを盛り上げ、開業を迎えたいと思っています。

ここで、市政を取り巻く国や県の状況等をご説明申し上げ、ご理解を賜りたいと存じます。

平成26年度の国の経済見通しは、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減に留意が必要ですが、「日本再興戦略」や「好循環実現のための経済対策」を着実に実行し、前年度に続き堅調な内需に支えられた景気回復が見込まれ、好循環が徐々に実現していくと考えられており、国内総生産の実質成長率は1.4%程度、名目成長率は3.3%程度と見込まれております。

しかしながら、金融資本市場の動向、アジアの新興国等の経済動向、電力

供給の制約など日本経済に影響を及ぼすおそれもあり、経済情勢は依然として先行き不透明な状況にもあると思われます。

国の新年度予算案は、前年度当初に比べ3.5%増の95兆8823億円となり、過去最大の予算規模となったところです。消費税率の引き上げなどにより税収が増えるため国債の新たな発行を減らすことができ、基礎的財政収支の赤字も中期財政計画より圧縮できたものの、債務残高は国内総生産の2倍を超え、国民一人が700万円以上の借金を抱えており先進国最悪の財政状況となっています。また、消費税率の引き上げに伴う景気の腰折れを防ぐため、当初予算とあわせて25年度補正予算を組み、総額100兆円を超える15か月予算を編成し切れ目のない経済対策を行ったところです。

長野県にあっては、阿部知事一期目の総仕上げの予算編成となり、4年ぶりに前年度を上回る積極型予算を組み、「信州山の日」の制定にあわせて信州の「山」を盛り上げていくこととし、特色や強みの「健康」や景観・山岳・自然環境等の「美しさ」を活かして、その価値をさらに磨き上げ、強力に発信していくことで、信州のブランド力を向上させる考えです。また、消費税率引き上げの影響を緩和し、景気回復の動きを確かなものとするため、経済・雇用対策に取り組むこととしています。

私も市長就任以来4年目を迎え、一期目の総仕上げの年であります。平成26年度の市政運営の基本的な考えとして、次の2点について申し述べます。

まず1点目は、「新幹線飯山駅開業に向け、関連施設の整備と開業に向け

たまちづくり」であります。新幹線飯山駅誘致は、30数年来の市民の悲願であり、過去に幾度となく誘致・建設促進のための市民集会を開催してきたところです。開業を26年度末に控え、駅開業に向けた施設整備や、信越9市町村など周辺地域と連携・補完しあいながら受け入れ体制の充実・整備など、魅力あるまちづくりに取り組み、駅開業を飯山市発展の最大の好機として、夢があり活気のある飯山市の実現に向けて、邁進（まいしん）する所存であります。

2点目は、飯山市で市民が安心して安全に生活できることを市政運営の根幹として、細かな配慮のもと、市民と連携をして市政を進めたいと考えております。市民の皆さんの大切な生命・財産を守ることが、市政運営の基本であります。特に、防災・減災対策については、新たに「危機管理防災課」を設置し、スピード感を持って着実に施策を実行してまいります。

事業実施の裏付けとなります飯山市の財政につきましては、新幹線関連整備などの大型事業に対し、国の交付金を活用するとともに新幹線関連事業のために今まで積み立ててきた基金を活用し、実施をしてまいります。

今後は、大型事業などにより一時的に公債残高も増加しますが、経常的経費の削減や行財政改革を進め、将来を見据えて長期的に安定した財政運営を行ってまいります。

それでは、平成26年度予算の特徴と、施策の概要を申し上げます。

予算総額は、一般会計で168億7千万円、前年度に比べ7億3千万円、4.5%の増となり過去最高の予算規模となりました。

歳入では、市税を前年度より1千4百万円減の22億3千6百万円、地方交付税を前年度より2千万円増の51億7千万円計上し、不足分を基金繰入金、市債で対応しました。

歳出につきましては、新幹線飯山駅開業の年度であることから、千曲川口広場、斑尾口広場、駅西線、立体駐車場、静間線、飯山駅統合の各整備など新幹線駅開業関連整備に49億2千万円余、前年度に比べ15億9千万円の増と重点的な配分となっています。

以下、基本構想（第5次総合計画）で掲げる将来都市像の『自然と共生する豊かな暮らし「技と縁のまち 飯山」』を実現するための6つの基本的な方向に沿って、平成26年度の事業についてご説明申し上げます、市の姿をご理解いただければと思います。

一つ目は、「自然共生による新しい価値観の発信」です。

豊かな自然と四季の移り変わりの美しさは、飯山市にとって最も貴重な資源です。この自然を守りながら、新たな価値を創造し魅力を高め市内外に情報発信していくことが必要となってきます。

自然や景観と調和したまち並の整備や、市民や団体が行うまち並の修景整備、まちづくり活動に支援をし、魅力的で回遊性のあるまちづ

くりを進めます。

飯山市の自然文化の象徴でもある「雪」については、市民の負担軽減と快適な冬の暮らしを確保するため、高齢者等の融雪式の屋根の設置支援に加え落雪式屋根の設置に対しても支援を拡充してまいります。

環境保全については、第2次環境基本計画に基づき、ごみの減量化のための取り組みとして、新たに生ごみ処理器購入支援の対象を拡大します。

二つ目は、「飯山の四季の美しさを活用したまちづくり」です。

新幹線飯山駅開業に向け、北信州の玄関口として飯山駅周辺施設と、つどい、にぎわい、ふれあいなどの拠点施設となる（仮）飯山ぷらざの整備を進め、格調高い文化の振興を図り、人の交流を活発にします。また、街の建物景観を高めるまち並整備の支援事業を継続して実施してまいります。

道路・公園整備につきましては、新幹線飯山駅を中心とした補助幹線道路である静間線、2次統合を迎える新飯山高校周辺の通称八幡線の整備や北畑地籍の歩道整備を進め、市民の憩いの場に加え歴史的シンボルとして飯山城址公園の整備を進めてまいります。

上下水道施設についても、安全で良質な水を継続的に供給するため、上水道と簡易水道の経営統合に向けた準備に着手し、施設の適正な維持管理と健全経営を目指し、農業集落施設常盤第一を公共下水道へ編

入し、戸狩特定環境保全公共下水道施設の長寿命化と耐震化事業に取り組みます。

三つ目は、『高速交通網による交流の促進』です。

観光・交流では、信越9市町村広域観光連携会議により、新幹線飯山駅を核とした広域観光を推進し、それぞれの地域が宝物を磨き、お互いに連携・補完しながら、地域経済の発展を図り、外国人も訪れる高原国際リゾートを展望し、観光プラットフォームの構築、広域観光商品の開発、飯山駅を中心とした2次交通の検討・具体化、おもてなし気運の醸成など受け入れ体制の整備を図ってまいります。

新幹線開業の年となり、北陸新幹線開業イベント実行委員会において、開業イベントや走る農家レストラン、アスパラ祭り、ハーフマラソンにあわせた信越自然郷うまいもの市などを予定し、あわせて開業をPRするツール等の作製により新幹線開業の市民の気運醸成と市内外に向けたPRを積極的に行ってまいります。また、開業日には、記念式典、記念イベントも計画してまいります。

四つ目は、「地域産業おこしと若者定住」です。

農業振興では、昨年度から実施している市単独での新規就農総合支援の見直しを行い、担い手となる農業者、経営体等の育成とともに、担い手への農地集積を図り、耕作放棄地の拡大を防止し、地域の特徴

を活かした地域農業の確立を目指します。

商工業振興では、新幹線飯山駅開業を契機とし魅力ある商店街づくりと商業の活性化を図るため、引き続き地域資源を活用した起業支援や土産品の開発支援、本町アーケード整備の支援を行ってまいります。また、JA、商工会議所等経済団体と連携し、市民の皆さんのアイデアによる駅弁コンテストを開催するなど、地域の食材を活用した新たな土産品や駅弁などの開発を支援してまいりたいと考えています。さらに、市内の小中規模事業者の経済対策として、住宅リフォーム支援事業を引き続き実施します。

移住定住では、移住定住希望者の多様なニーズを踏まえ、賃借した空き家の改修に対する支援と、空き家の所有者が賃貸や売却をしやすくするための家財道具の処理等に対する支援を新たに設け、地域への定着や定住に向けた環境整備を実施します。あわせてさわやか婚活応援事業を拡充し、紹介から婚姻に至るまでの仲立ちをする仲人に、成婚した場合に報奨金を交付する制度を新たに設け、結婚・就業・定住につながる施策を拡充します。

五つ目は、「たくましさ」と郷土愛を育てる教育」です。

飯山らしい教育の推進では、飯山市の将来を担う人材を育成するため、小学校・中学校・高等学校が連携し、英語や数学を中心とした学力の向上や個々の学力実態調査を実施分析し指導の参考にしたり、信州大

学と連携して教員の指導力向上や授業改善を行うなど、学力向上に努めます。

老朽化している城南中学校校舎として、現飯山高校校舎を取得することとしておりますが、今年度は中学校用の校舎として使用するための改修の設計や、給食センターの移転改築のための設計業務を新たに予算化しております。

飯山市の教育を担う教員の確保を目的に、長野県小中学校教員になることを志し、短期大学又は大学へ進学する学生に対して、奨学金を無利子で貸与することとし、一定の条件を満たせば償還額の1/3を免除する奨学金制度を新たに創設しました。多くの皆さんに活用していただければと期待しております。

文化・スポーツ振興では、小菅地区が文化庁の重要文化的景観の選定を受けるために策定した保存計画に基づき選定を受け、その計画に沿って周辺の文化的景観を保存整備し文化的景観を保存しつつ、経済資源、観光資源としても活用していきます。

最後の六つ目は、「子どもから高齢者まで安心して暮らせるまち」です。

高齢者福祉では、高齢者社会の本格的な到来により、介護等の需要は増大しております。転倒予防、筋力アップ、脳生き生き教室、集落サロンなどを開催し、高齢者の生きがいつくりやふれあい等、高齢者

がいつまでも生き生きと暮らせるよう支援していきます。

子育て支援では、第三子以降の保育料無料化、中学生までの医療費の負担軽減を実施し、子育て支援センター、子育ての不安を解消する相談体制、学童クラブなどを引き続き実施してまいります。本年度からはこれらに加えて、出産から1歳頃までの子育てスタート期に母親が自信を持って子育てできるよう母親支援プログラムを実施し、母親が安心して子育てができ、育児の幸福感が高まり、3人以上の子どもが欲しいと思う人を増やすことを目的とした「かるがも支援事業」を実施し、人口の増加にもつながる子育て支援を行ってまいります。

健康づくりでは、25年度に34年度までを期間とする第2次の「飯山市健康増進計画」を策定しました。「市民が主役、市民参加の健康づくり」、「生活習慣病予防対策の充実」、「健康寿命の延伸」を三つの柱として市民の健康づくりを総合的に支援し、生活習慣病を予防することに重点を置いて策定したものです。この計画に基づき、がん検診の無償化を拡大し、新たに胃がん、肺がん、前立腺がんの初年度の検診を無料にしたいと考えております、あわせて国民健康保険の人間ドックの検査費用の助成を拡大し、市民がいつまでも家庭で健やかに暮らし続けることができるよう取り組んでまいります。

医療体制の整備では、地域医療を担う中核的な医療機関があつてこそ、市民がこの地域で安心して暮らすことができますので、中核医療機関への支援を充実し、医師の研究資金や奨学資金の貸与などにより

医療機関と連携しながら医師の人材確保を計画的に取り組んでいきます。

防災では、大地震、原発事故など広域的大規模災害を想定しながら、災害への備えを強化し、市の総合防災訓練の充実、備蓄品の購入、地域に根ざした自主防災会での訓練の実施などにより、防災意識の高揚と体制整備を図り、防災・減災への取り組みを充実してまいります。

活力あるふるさとづくりなどその他では、新たに「地域おこし協力隊」の制度を活用し、都市住民を受け入れ委嘱し、地域住民と協働した情報発信、地域の魅力のPR、移住交流の支援活動など地域協力活動に従事してもらい、あわせてその定住・定着を図りながら地域の活性化に貢献できればと考えております。また、ネット社会などの広がりなどにより従来にも増して消費者問題は多様化しています。これらの問題をスムーズに対応するため、新たに消費生活センターを設置し、市民の被害を未然に防ぐため、各種情報提供や啓発活動、消費者問題の相談・解決を行ってまいります。

その他、26年度は市制が施行されて60周年を迎え、あわせて飯山城築城450周年の記念の年でもあります。新幹線飯山駅開業の年度に60周年を迎えられることは、市民一丸となって取り組んだこれまでの新幹線誘致運動の歴史を考えると感無量であります。新幹線開業イベントと連携し、市民の皆さんと60周年のお祝いをしたいと考えております。

最後になりますが、新幹線飯山駅開業がいよいよ1年後となりました。新幹線関連整備の総仕上げの年として、市民の皆さんの利便性の向上はもちろんのこと、観光交流の活性化と国際的にも魅力ある広域観光圏である信越自然郷での観光資源の共有、新幹線通勤による定住者の増加など、様々な経済効果を生み出すよう、施策に取り組んでまいります。

新幹線開業は、市の大きな事業ではありますが、市政運営の根幹である市民が安心して安全に生活できることを第一義として市政運営を進め、市民の皆様と手を取り合い共に努力することで、さらに活気ある飯山市をつくっていく所存であります。議員各位のご支援ご協力を心よりお願い申し上げ、所信表明と致します。

平成 26 年 2 月

飯 山 市 長      足 立 正 則